

病態制御医学講座／小児科学領域

附属病院／小児科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	大嶋 勇成	平成 10 年 9 月－
准教授	谷澤 昭彦	平成 5 年 4 月－
講師	畑 郁江	平成 12 年 7 月－
講師	川谷 正男	平成 15 年 4 月－
助教	安富 素子	平成 21 年 4 月－
助教	徳力 周子	平成 20 年 10 月－
助教	鈴木 孝二	平成 21 年 4 月－平成 22 年 3 月、平成 24 年 4 月－
助教	村井 宏生	平成 24 年 7 月－
助教	巨田 元礼	平成 26 年 4 月－
特命助教	河北 亜希子	平成 26 年 6 月－
特命助教	奥野 貴士	平成 24 年 4 月－

2. 研究概要

● 研究概要

病態制御医学講座／小児科学領域および附属病院／小児科・総合周産期母子医療センターで実施されている研究は、「アレルギー・免疫・感染部門」、「血液・腫瘍部門」、「内分泌・代謝・栄養・先天異常部門」、「神経・発達・子どものこころ・成育・保健部門」、「胎児・新生児・未熟児部門」、「腎・泌尿器部門」の6部門に分類される。個々の部門はそれぞれ独立して、また、相互に協力して、研究を実施した。個々の部門の研究概要は別に示す。

● キーワード

小児科学, 免疫性疾患, アレルギー性疾患, 血液の疾患, 臨床腫瘍学, 代謝異常, 栄養性疾患, 内分泌疾患, 小児神経, 発達障害, 子どものこころ, 胎児・未熟児・新生児, 小児循環器, ネフローゼ症候群, 糸球体腎炎, 先天性腎尿路奇形

● 業績年の進捗状況

部門毎に記載

● 特色等

小児科学の各専門領域で優れた研究を実施し、その成果を国内外に発信している。同時に、小児アレルギー疾患の治療ガイドラインの策定や先天代謝異常症のマス・スクリーニング、発達障害のきょうだい支援体制の構築など、近年社会的に問題となっている疾患の診療・予防・管理に直接結びつく研究を継続して行っている。福井県の医療・保健行政に対し、関係する各種委員会の委員として参加することにより貢献するとともに、血液・腫瘍部門は福井県唯一の骨髄移植認定施設として、骨髄移植治療成績の向上のための臨床研究を進め、国内外の大規模な専門施設にひけをとらない治療成績を上げている。新生児・未熟児部門は総合周産期母子医療センターのNICU/GCU部門として超未熟児に対する優れた治療成績を上げており、日本周産期・新生児医学会認定の専門医研修施設として新生児専門医の育成を行った。神経・発達部門は小児科の積極的な関与が求められる「発達障害」や「こころ」の問題を抱える児に対する支援を、治験・臨床試験の推進、地域との学際的・有機的な連携のもとに、積極的に行っている。腎・泌尿器部門は福井県下の学校検尿有所見者に対する二次精密検査の標準化プロトコルの作成を多施設共同で行っている。このように、小児

科学・小児医療の多くの分野で、社会に大きく貢献している。

- **本学の理念との関係**

小児科学領域は、上述の研究概要、研究進展状況、特色に記載したごとく、本学の理念である先端的医療人および医学研究者の育成、世界をリードする水準の研究成果の創出、高度な医療の実践、のすべての項目において、それに合致した優れた活動を実施している。

アレルギー・免疫・感染部門

- **研究概要**

小児のアレルギー疾患、免疫疾患、感染症を対象に、その病因・病態の解析と治療法の開発のための研究を実施している。

- **キーワード**

小児科学，膠原病，アレルギー，感染症，免疫不全症，自己炎症性疾患

- **業績年の進捗状況**

科学研究費補助金・基盤研究（C）「食物アレルギーに対する制御性 T 細胞誘導を利用した経皮免疫療法の開発」（研究代表者）、科学研究費補助金・基盤研究（C）「オートファジー機能修飾により食物アレルギーを抑制する」（研究代表者）、科学研究費補助金・若手研究（B）「経皮感作による食物アレルギー発症機序の解明と経皮免疫療法への応用」（研究代表者）、科学研究費補助金・若手研究（B）「ステロイド抵抗性喘息における気道上皮細胞のオートファジーの重要性」（研究代表者）、科学研究費補助金・若手研究（B）、「乳児喘息の病態における線維細胞の自然免疫応答の重要性」（研究代表者）、および Allergology International 編集委員、日本小児アレルギー学会編集委員長、日本小児アレルギー学会食物アレルギーガイドライン委員会委員、好酸球性消化管疾患ガイドライン統括委員などの活動を通して、小児アレルギー性疾患の病因病態における食物アレルギーの関与の解明と新しい治療法の開発、気管支喘息における気道リモデリング機序の解析などの研究と共に、我が国の食物アレルギーガイドラインの作成に中心的な役割を果たした。膠原病、炎症性腸疾患、原発性免疫不全症、自己炎症性疾患の病態解析や、食物アレルギー患者の経口減感作療法における耐性獲得機序の解明や治療判定基準の開発研究、気管支喘息におけるバイオマーカー開発研究を行っている。

- **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

血液・腫瘍部門

- **研究概要**

小児血液疾患、悪性腫瘍の病因・病態の解析と治療法の開発に関する研究を実施している。

- **キーワード**

小児科学，臨床腫瘍学，血液腫瘍，血液の疾患の治療

- **業績年の進捗状況**

血液・腫瘍部門は日本小児白血病リンパ腫研究グループ（JPLSG）、日本小児白血病研究会（JACLS）、日本神経芽腫研究グループ（JNBSG）等の臨床研究グループの参加施設として、白血病・悪性リンパ腫・神経芽腫等の最先端の臨床治療研究を行うと共に、難治症例への造血幹細胞移植を組み入れた集学的治療を行っている。また化学療法による合併症への対応など、診療のなかで得ることができた個々の知見について報告した。仁愛大学との共同研究として、小児がん経験者を対象に心理テス

トや面接を用いて入院治療の影響を解析し報告した。JPLSG 治療研究活動として、平成 26 年度厚生労働科学研究委託費による革新的がん医療実用化研究事業（小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立）の分担研究者として慢性骨髄性白血病の後方視的疫学調査の解析を進め報告すると共に、現在進行中の前方視的多施設共同観察研究の予備解析結果を報告した。基礎研究に関しては、難治固形腫瘍に対する新規免疫療法の開発を目指し、造血幹細胞移植後の免疫系再構築過程における抗腫瘍免疫を効率的に導くための自家造血幹細胞移植法の研究に取り組んでいる。

- **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

内分泌・代謝・栄養・先天異常部門

- **研究概要**

小児内分泌・代謝疾患の病因・病態の解明と診断・治療法の開発に関する研究を実施している。

- **キーワード**

小児科学，代謝異常，栄養性疾患，内分泌疾患治療，新生児マススクリーニング，質量分析法

- **業績年の進捗状況**

タンデム質量分析計を用いた新生児代謝異常マス・スクリーニング（タンデムマス・スクリーニング）の精度管理に関する研究（厚生労働科学研究費補助金・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業による）を実施した。各地の自治体・検査機関でのスクリーニング精度管理および陽性判定法を検討し、運用に関する支援を行った。スクリーニング精度を高める新しい検査法として LC-MS/MS 法を開発し、その有用性を学会などで報告した。ビタミン B12 反応性メチルマロン酸血症スクリーニングのために濾紙血中メチルマロン酸・総ホモシステイン定量法を開発し、患児の診断も行った。CPT-2 欠損症の乳幼児期突然死例の調査をふまえ、新しく開発したスクリーニング指標とそのカットオフ値の妥当性についても検討し、関連学会などで報告した。フルクトース-1,6-ビスフォスファターゼ欠損症について LC-MS/MS 法による精度の高い酵素活性測定法を開発し学会で報告した。高 IgD 症候群スクリーニングのための尿中メバロン酸定量を継続し、複数の新規患者を診断した。タンデムマス・スクリーニングで陽性となる早産児のピオチン欠乏に関して血中アシルカルニチン分析と尿有機酸分析を継続した。先天代謝異常症の化学診断の我が国における中心施設として、全国各地の医療機関のみならず、インドの研究機関からも分析依頼を受け付け、新たに開発した分析法を用いて多数の有機酸代謝異常症・アミノ酸代謝異常症・脂肪酸酸化異常症患者の診断に貢献した。

- **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

神経・発達・子どものころ・成育・保健部門

- **研究概要**

小児神経・筋疾患、発達障害の病因・病態の解明、有用な診断法の開発と有効な治療や療育法の開発に関する研究を実施している。

- **キーワード**

小児科学，小児神経・筋疾患，発達障害，子どものころ，発達脳科学

- **業績年の進捗状況**

科学研究費補助金・基盤研究 C「医学的評価に基づくきょうだい支援システムの構築」（研究代

表者)、基盤研究 C「自閉性障害の神経ネットワーク異常に関する研究:非線形解析による脳形態生理学的検討」(研究分担者)、大学連携リーグ連携研究推進事業などの援助を受けて、小児の発達障害の病態解明や診断に有用なバイオマーカーの開発、発達障害とその家族(特にきょうだい)に対する有効な支援方法の開発、小児同胞例を対象とし非線形解析を用いた発達障害における脳内神経ネットワーク障害の解明等を行い、その成果を学会や専門誌に報告してきた。

臨床では、福井県で唯一の日本小児神経学会小児神経専門医認定施設として、希少疾患や難治性疾患の診断や治療を行い、その成果を学会や専門誌に報告してきた。また、福井県内の小児神経専門医を志す若手医師育成や専門的な指導を行うために、小児神経に関する画像、脳波、臨床遺伝の勉強会を定期的に開催している。さらに、公立小浜病院や市立敦賀病院で小児神経・精神疾患の専門外来を開設し、福井県内の小児神経の専門的診療ネットワークを構築している。発達障害などの小児精神疾患に関しては、附属病院こどもの心診療部、福井県内の療育機関、教育機関や行政機関と連携を取りながら、発達障害の診断、治療や専門医師の育成に力を注いでいる。小児での治験推進にも積極的に取り組んでおり、小児の注意欠如・多動症を対象とした臨床試験を行っている。

- **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

胎児・新生児・未熟児部門

- **研究概要**

胎児・新生児の生理および病態の解明と難治性疾患に対する効果的治療法の開発を目指した研究を行っている。

- **キーワード**

胎児・未熟児・新生児, 栄養・発育, 体液, 生体応答

- **業績年の進捗状況**

科学研究費補助金・若手研究(B)「胃粘膜保護剤ゲラニルゲラニルアセトンを用いた気管支肺異形成の新規予防戦略」(研究代表者)による助成を受け、動物実験による検討を開始した。また、平成26年度福井大学医学部「ライフサイクル医学」推進学部長裁量経費による研究助成を受け、早産児の慢性腎臓病発症を予測するバイオマーカーに関する研究を行った。周産期母子医療センターネットワークに参加し、早産児の長期的予後を全国レベルでデータベース化する共通システムへの情報提供を行った。新生児の希少疾患・難治性疾患の診断、治療にあたり、関連学会、研究会で報告した。日本周産期・新生児医学会の専門医研修施設として新生児専門医の育成を行うとともに、日本周産期・新生児医学会公認の新生児蘇生法の普及に努めており、福井県医師会主催の新生児蘇生法講習会にインストラクターを派遣した。

- **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

腎・泌尿器部門

- **研究概要**

小児の腎・尿路疾患における早期診断並びに効果的治療法の開発、改善を目指した研究を行っている。

- **キーワード**

ネフローゼ症候群, 糸球体腎炎, 尿路感染症, 先天性腎尿路奇形, 腎不全

● **業績年の進捗状況**

新たな腎機能評価法として、MRI を利用した非侵襲的評価法の確立を目指した研究を行っている。また、蛋白尿の評価方法として蛋白（アルブミン）排泄率などを指標に病態解析を行っている。CAKUT (congenital anomalies of kidney and urinary tract) に対し、出生後はもとより、胎生期からの効果的な介入方法を検討している。定期的に福井県小児腎疾患症例検討会を開催し、県内各診療施設間での知見の共有と補完、並びに最新の治療方針の普及に努めるとともに、福井県下での学校検尿有所見者に対する二次精密検査の標準化プロトコールの作成を目標に活動を展開している。胎児・新生児・未熟児部門と共同で、未熟児・新生児の尿検体を用いて腎障害の早期発見に有用なバイオマーカーを検討した。

● **本学の理念との関係**

小児科学全体として記述

3. **研究実績**

区 分		編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文		57	8	—————	—————
英文論文	ファーストオーサー	20	3	36.383 (36.383)	5.071 (5.071)
	コレスポ ンデ ینگ オーサー	17	3	36.383 (36.383)	5.071 (5.071)
	その他	34	5	79.674 (78.997)	11.925 (11.925)
	合計	54	8	116.057 (115.380)	16.996 (16.996)

(A) **著書・論文等**

(1) **英文：論文等**

a. **原著論文（審査有）**

(1331114)

+Yamada N, *Nakai A, +Nishida K, Mayumi M: A Case of Infantile Miller Fisher Syndrome. *Pediatric and Neonatal Care*, 2 (1) , 110, 2014.01, DOI; 10.14437/PNCOA-2-110 (症例報告)

1431001

H. Hayashi, S. Tokuriki, T. Okuno, *Y. Shigematsu, +A. Yasushi, +G. Matsuyama, +K. Sawada, Y. Ohshima: Biotin and carnitine deficiency due to hypoallergenic formula nutrition in infants with milk allergy. *Pediatr Int*, 56, 286-288, 2014.04, #0.875, DOI; 10.1111/ped.12319

1431002

H. Kometani, M. Kawatani, G. Ohta, S. Okazaki, K. Ogura, M. Yasutomi, A. Tanizawa, Y. Ohshima: Marked elevation of interleukin-6 in mild encephalopathy with a reversible splenic lesion (MERS) associated with acute focal bacterial nephritis caused by *Enterococcus faecalis*. *Brain Dev*, 36 (6) , 551-553, 2014.06, #2.119, DOI; 10.1016/j.braindev.2013.07.012. (症例報告)

1431003

+H. Oda, +K. Nakagawa, +J. Abe, +T. Awaya, +M. Funabiki, +A. Hijikata, +R. Nishikomori, +M. Funatsuka, Y. Ohshima, +Y. Sugawara, +T. Yasumi, +H. Kato, +T. Shirai, +O. Ohara, +T. Fujita, +T. Heike: Aicardi-Goutieres syndrome is caused by IFIH1 mutations. Am J Hum Genet, 95, 121-125, 2014.06, #11.202, DOI; 10.1016/j.ajhg.2014.06.007

1431004

+S. Ohba, A. Tanizawa, *H. Yoshimura, *S. Matsuda, *Y. Imamura, *K. Sano: A case of retinoblastoma metastasizing the mandible and review of literature. Cranio, 2015.01, #0.723 (症例報告)

1431005

M. Yasutomi, S. Okazaki, Y. Hata, A. Tanizawa, +S. Tamamura, +M. Kawakita, Y. Ohshima: Cytokine profiles in mycoplasma pneumonia-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis. J Microbiol Immunol Infect., 2015.01, #2.077, DOI; 10.1016/j.ajhg.2014.06.007 (症例報告)

1431006

*Kazunobu Tsuji, *Tatsuro Tsuchida, *Nobuyuki Kosaka, Akihiko Tanizawa, *Kimura Hirohiko: Serial changes of (18)F-FDG PET/CT findings in ischiopubic synchondrosis: comparison with contrast-enhanced MRI. Hell J Nucl Med., 18 (1), 66-67, 2015.03 (症例報告)

1431007

H. Hayashi, A. Kawakita, S. Okazaki, H. Murai, M. Yasutomi, Y. Ohshima: IL-33 enhanced the proliferation and constitutive production of IL-13 and IL-5 by fibrocytes. BioMed Res Int, 2014, ID 738625, 2014.04, #2.88, DOI; 10.1155/2014/738625

b. 総説

1431008

+A. Urisu, +M. Ebisawa, +K. Ito, +Y. Aihara, +S. Ito, M. Mayumi, +Y. Kohno, +N. Kondo, Y. Ohshima, +Committee of Japanese Pediatric Guideline for Food: Japanese Guideline for food allergy 2014. Allergol Int, 63 (3), 399-420, 2014.09, DOI; 10.2332/allergolint.14-RAI-0770

(2) 和文：著書等 (proceedings を除く)

a. 著書 (共著)

1431009

大嶋 勇成, 眞弓 光文, +日本小児アレルギー学会食物アレルギー委員会: 宇理須 厚雄, 近藤直実(編): 食物アレルギーハンドブック 2014, 1, 協和企画, 2014.05

b. 著書 (分担執筆)

1431010

大嶋 勇成: ここだけは押さえておきたい アレルギー総合診療から専門医へ 小児科専門医へ: 大久保 公裕(編): イチから知りたいアレルギー診療, 1, 全日本病院出版会, 66-71, 2014.05

(3) 和文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

(1331115)

*重松 陽介, 畑 郁江, +林 泰平, +小野 浩明, +但馬 剛: 二次検査法と組み合わせて実施するメチルマロン酸血症・プロピオン酸血症のタンデムマス・スクリーニング指標の検討. 日本マス・スクリーニング学会誌, 24 (1), 49-56, 2014.01

(1331116)

+但馬 剛, +小野 浩明, +津村 弥来, +岡田 賢, +佐倉 伸夫, *重松 陽介, 畑 郁江, +原圭一: CPT II 欠損症の新生児スクリーニング. 見逃し例経験後の指標変更の影響. 日本マス・スクリーニング学会誌, 24 (3), 261-266, 2014.03

1431011

林 仁幸子, 川谷 正男, 巨田 元礼, 米谷 博, 大嶋 勇成: Basedow 病と類もやもや病合併症例の atrial spin labeling (ASL)法による脳灌流評価の検討. 脳と発達, 46 (4), 287-300, 2014.07 (症例報告)

1431012

奥野 貴士, +廣間 武彦, +中村 友彦: 新生児期に肥大型心筋症および乳糜腹水を合併した Noonan 症候群の 1 症例. 日本周産期・新生児医学会雑誌, 50 (3), 1037-1042, 2014.09 (症例報告)

1431013

山田 健太, 奥野 貴士, 徳力 周子, 小坂 拓也, 吉野 智美, 巨田 元礼, 畑 郁江, +田村知史, 大嶋 勇成: 胎児期に右胸心を指摘され、出生後に右肺欠損症と診断された 1 例. 小児科臨床, 67 (11), 2014-2011, 2014.11 (症例報告)

1431014

杉原 啓一, 巨田 元礼, 大嶋 勇成: 動脈管開存を合併した先天性肺葉性肺気腫の同胞例. 日本小児呼吸器学会雑誌, 25 (2), 100-105, 2015.01 (症例報告)

1431015

村井 宏生, 岡崎 新太郎, 林 仁幸子, 河北 亜希子, 安富 素子, 大嶋 勇成: 学校給食関連職員の食物アレルギーとアナフィラキシーに対する認識とその問題点. 小児科臨床, 68 (2), 299-305, 2015.02

b. 総説

1431016

奥野 貴士, 大嶋 勇成: 胸水、乳び胸. Neonatal Care, 27 (4), 356-362, 2014.04

1431017

*重松 陽介, 畑 郁江: ピンポイント小児医療 タンデムマス・スクリーニングの二次検査 血清および尿のアシルカルニチン分析. 小児内科, 46 (4), 506-509, 2014.04

1431018

大嶋 勇成: 食物アレルギー診療 Up Date 11. 原因食品. 小児科, 55 (5), 572-577, 2014.05

1431019

+宇理須 厚雄, +今井 孝成, *重松 陽介, 大嶋 勇成: 牛乳アレルギー除去調整粉乳の必至栄養素の適正量と非含有の問題. アレルギー・免疫, 21 (6), 71-81, 2014.06

1431020

畑 郁江, *重松 陽介: 新生児期に特徴的なけいれん性疾患 先天代謝異常症. 小児科, 55 (8), 1175-1182, 2014.08

1431021

大嶋 勇成: 小児アトピー性皮膚炎治療のポイント. Monthly Book Derma, 224, 19-24, 2014.11

1431022

大嶋 勇成: 保育園における食物アレルギーへの対応. 保育と保健, 21 (1) , 19-20, 2015.01

c. その他研究等実績 (報告書を含む)

1431023

+島田 明子, +原田 康子, 大嶋 勇成, +江口 陽子, +成田 幸子, +清川 ひろみ: 食物アレルギーのある児童生徒への指導. 第 55 回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会報告書, 118-135, 2015.01

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 一般講演 (口演)

1431024

H. Murai, S. Okazaki, H. Hayashi, A. Kawakita, M. Yasutomi, Y. Ohshima: Saliva-SP-D is a practical marker to identify the peripheral airway inflammation, American Academy of Allergy, Asthma & Immunology 2015 Annual Meeting, 2015.02, Huoston (USA) , 2015.02

b. 一般講演 (ポスター)

1431025

林 仁幸子, 岡崎 新太郎, 河北 亜希子, 村井 宏生, 安富 素子, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: IL-33 は線維細胞の増殖と IL-5, IL-13 の構成的産生を増強する, 第 24 回国際喘息学会日本・北アジア部会, 2014.07, 名古屋市

1431026

+K. Hara, +H. Ono, +R. Kagawa, +S. Okada, +G. Tajima, +N. Sakura, I. Hata, *Y. Shigematsu, +M. Kobayashi: The first Japanese case of isolated methylmalonic acidemia caused by cblD defect., Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, 2014.09, Innsbruck (Austria) , J Inherit Metab Dis, 37 (Suppl.1) , S91, 2014.08

1431027

+G. Tajima, +K. Hara, +M. Tsumura, +R. Kagawa, +S. Okada, +N. Sakura, I. Hata, *Y. Shigematsu, +M. Kobayashi: Heterozygous carrier of VLCAD deficiency detected by newborn screening may have latent risk of symptomatic hypoglycemia, Annual Symposium of the Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism, 2014.09, Innsbruck (Austria) , J Inherit Metab Dis, 37 (Suppl.1) , S107, 2014.08

1431028

+H. Oda, +K. Nakagawa, +J. Abe, +T. Awaya, +M. Funabiki, +A. Hijikata, +R. Nishikomori, +M. Funatsuka, Y. Ohshima, +Y. Sugawara, +T. Yasumi, +H. Kato, +T. Shirai, +O. Ohara, +T. Fujita, +T. Heike: Aicardi-Goutieres syndrome is caused by IFIHI mutations, The American Society of Human Genetics annual meeting 2014, 2014.10, San Diego (USA)

1431029

S. Okazaki, H. Murai, H. Hayashi, A. Kawakita, M. Yasutomi, Y. Ohshima: Standerdized airway resistances are practical parameters fo asthmatic children who cannot perform

spirometry, American Academy of Allergy, Asthma & Immunology 2015 Annual Meeting, 2015.02, Houston (USA)

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

1431030

大嶋 勇成: 病態から考えるアトピー性皮膚炎の治療, 第 51 回日本小児アレルギー学会, 2014. 11, 四日市市, 日本小児アレルギー学会誌, 28 (4), 573, 2014. 10

b. シンポジスト・パネリスト等

1431031

村井 宏生, 岡崎 新太郎, 林 仁幸子, 河北 亜希子, 安富 素子, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: 学校給食担当職員の食物アレルギーに対する認識とその問題点, 第 26 回日本アレルギー学会春季臨床大会, アドレナリン自己注射と学校対応, 2014. 05, 京都市, アレルギー, 63 (3・4), 512, 2014. 04

1431032

河北 亜希子, 岡崎 新太郎, 林 仁幸子, 村井 宏生, 安富 素子, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: 経皮感作後の抗原経口チャレンジ間隔が食物アレルギー症状に及ぼす影響, 第 26 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 動物モデル, 2014. 05, 京都市, アレルギー, 63 (3・4), 528, 2014. 04

1431033

*重松 陽介, 畑 郁江: タンデムマス・スクリーニングの診断精度の向上, 第 39 回医用マススペクトル学会, タンデムマスを導入した新生児マススクリーニングの現状と課題, 2014. 10, 千葉市

1431034

安富 素子, 村井 宏生, 岡崎 新太郎, 河北 亜希子, 林 仁幸子, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: 経口減感作療法における血清/唾液中抗原特異的抗体の推移, 第 51 回日本小児アレルギー学会, 経口免疫療法, 2014. 11, 四日市市, 日本小児アレルギー学会誌, 28 (4), 626, 2014. 10

c. 一般講演 (口演)

(1331117)

*米田 誠, *井川 正道, +清野 千恵子, 川谷 正男, 畑 郁江, *前田 浩幸, *小坂 浩隆, *東間 正人, *松木 孝澄, *和田 有司: 福井大学遺伝診療部の現状と課題, 第 58 回日本人類遺伝学会, 2013. 11, 仙台市

1431035

安富 素子, 岡崎 新太郎, 林 仁幸子, 河北 亜希子, 村井 宏生, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: ハンノキ特異的 IgE 陰性のリンゴによる食物依存性運動誘発アナフィラキシー, 第 26 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2014. 05, 京都市, アレルギー, 63 (3・4), 602, 2014. 04

1431036

畑 郁江, +西島 節子, +石上 毅, +但馬 剛, *重松 陽介: タンデムマス・スクリーニングで発見されたイソ吉草酸血症女児の臨床経過, 第 41 回日本マス・スクリーニング学会, 2014. 08, 広島市

1431037

*重松 陽介, 畑 郁江: アシルカルニチンプロファイルを参照した脂肪酸酸化異常症スクリーニング陽性判定の重要性, 第 41 回日本マス・スクリーニング学会, 2014. 08, 広島市

1431038

+但馬 剛, +津村 弥来, +香川 礼子, +岡田 賢, +原 圭一, +松本 裕子, +栢田 紗季, +森岡 千代美, +吉井 千代子, +佐倉 伸夫, 畑 郁江, *重松 陽介: タンデムマス新生児スクリーニング in 広島 自治体事業化後の現状, 第 41 回日本マス・スクリーニング学会, 2014. 08, 広島市

1431039

田中 奈々絵, 米谷 博, 巨田 元礼, 安富 素子, 川谷 正男, 畑 郁江, 眞弓 光文, 大嶋 勇成, *有島 英孝, *菊田 健一郎, *大越 忠和, +平野 聡子, +石原 靖紀: 難治性細菌性髄膜炎を契機に診断された先天性皮膚洞の 2 症例, 第 46 回日本小児感染症学会学術集会, 2014. 10, 東京

1431040

村井 宏生, 岡崎 新太郎, 林 仁幸子, 河北 亜希子, 安富 素子, 大嶋 勇成: 唾液中サーファクタントプロテインDは局所性炎症マーカーとなりうるか, 第 47 回日本小児呼吸器学会, 2014. 10, 東京, 日本小児呼吸器学会雑誌, 25 (suppl) , 142, 2014. 10

1431041

+丸田 直樹, +清原 隆宏, *知野 剛直, *高嶋 渉, *徳力 篤, *長谷川 稔, 米谷 博, 鈴木 孝二, *大越 忠和, *今村 好章: 乳幼児筋線維腫症の 1 例, 第 65 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2014. 10, 大阪市, 抄録集, 167

1431042

村井 宏生, 岡崎 新太郎, 林 仁幸子, 河北 亜希子, 安富 素子, +老木 知子, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: 唾液中サーファクタントプロテインDは気道炎症の指標となりうるか?, 第 51 回日本小児アレルギー学会, 2014. 11, 四日市市, 日本小児アレルギー学会誌, 28 (4) , 659, 2014. 10

1431043

+嶋 晴子, +清河 信敬, 谷澤 昭彦, +黒澤 秀光, +渡辺 輝浩, +伊藤 正樹, +遠野 千佳子, +湯坐 有希, +村松 秀城, +堀田 紀子, +岡田 雅彦, +嶋田 博之: 小児慢性期 CML における治療反応性予測因子としての細胞表面マーカー解析, 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014. 11, 岡山市, 日本小児血液・がん学会雑誌, 51 (4) , 219, 2014. 10

1431044

谷澤 昭彦, +黒澤 秀光, +渡辺 輝浩, +伊藤 正樹, +遠野 千佳子, +嶋 晴子, +湯坐 有希, +村松 秀城, +堀田 紀子, +岡田 雅彦, +平位 秀世, +嶋田 博之: 小児慢性期慢性骨髄性白血病に対する多施設共同観察研究 (CML-08) 平成 26 年度予備解析: 変異解析について, 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014. 11, 岡山市, 日本小児血液・がん学会雑誌, 51 (4) , 219, 2014. 10

1431045

+湯坐 有希, 谷澤 昭彦, +黒澤 秀光, +渡辺 輝浩, +伊藤 正樹, +遠野 千佳子, +嶋 晴子, +村松 秀城, +堀田 紀子, +岡田 雅彦, +嶋田 博之: JPLSG CML-08 予備解析報告: 急性有害事象について, 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014. 11, 岡山市, 日本小児血液・がん学会雑誌, 51 (4) , 218, 2014. 11

1431046

+H. Shimada, +H. Kurosawa, +A. Watanabe, +M. Ito, +C. Tono, +H. Shima, +Y. Yuza, +H. Muramatsu, +N. Hotta, +M. Okada, A. Tanizawa: A multicenter, prospective observational study for pediatric CML in CP (JPLSG CML-08): preliminary analysis 2014, 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014. 11, 岡山市, 日本小児血液・がん学会雑誌, 51 (4) , 210, 2014. 10

1431047

+H. Muramatsu, A. Tanizawa, +H. Kurosawa, +A. Watanabe, +M. Ito, +C. Tono, +H. Shima, +Y. Yuza, +M. Okada, +N. Hotta, +H. Shimada: Impact of imatinib mesylate trough blood level on the clinical outcome of children with chronic myeloid leukemia (JPLSG CML-08 study), 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014. 11, 岡山市, 日本小児血液・がん学会雑誌, 51 (4), 211, 2014. 10

1431048

+原 圭一, +但馬 剛, +小野 浩明, +岡田 賢, +佐倉 伸夫, 畑 郁江, *重松 陽介: 日本人初と考えられるメチルマロン酸血症 cb1D 型の 1 歳男児, 第 56 回日本先天代謝異常学会, 2014. 11, 仙台市

1431049

*成瀬 廣亮, +今井 悠人, *嶋田 誠一郎, 川谷 正男: こころの問題に対する理学療法のあり方の模索-転換性障害と診断された男児との取り組み-, 第 2 回日本臨床作業療法学会, 2015. 02, 那覇市

d. 一般講演 (ポスター)

1431050

熊野 麻美, 米谷 博, 鈴木 孝二, 吉川 利英, 奥野 貴士, 徳力 周子, 畑 郁江, 谷澤 昭彦, 大嶋 勇成, *今村 好章: 多中心型筋線維腫症の新生児例, 第 117 回日本小児科学会学術集会, 2014. 04, 名古屋市, 日本小児科学会雑誌, 118 (2), 353, 2014. 02

1431051

川谷 正男, *高橋 哲也, 巨田 元礼, 米谷 博, 大嶋 勇成, *友田 明美, +平谷 美智夫: 発達障害の同胞例における非線形解析を用いた脳波研究, 第 56 回日本小児神経学会学術集会, 2014. 05, 浜松市, 脳と発達, 46 (suppl), S348, 2014. 05

1431052

巨田 元礼, 米谷 博, 川谷 正男, 畑 郁江, 大嶋 勇成: 頭蓋咽頭腫術後にメチルフェニデートを使用する際の注意事項, 第 56 回日本小児神経学会学術集会, 2014. 05, 浜松市, 脳と発達, 46 (suppl), S423, 2014. 05

1431053

*上原 佳子, *安倍 博, 川谷 正男, *長谷川 智子: ASD 児を持つ母親に対するタクティールケアの主観的効果の検証, 第 32 回日本生理心理学会大会, 2014. 05, つくば市

1431054

畑 郁江, +安部 大輔, +中久木 卓也, 磯崎 由宇子, +石上 毅, *重松 陽介, 大嶋 勇成: 下垂体マクロアデノーマによるクッシング病の男児例, 第 48 回日本小児内分泌学会学術集会, 2014. 09, 浜松市, プログラム・抄録集, 177, 2014. 09

1431055

+A. Watanabe, A. Tanizawa, +C. Tono, +H. Shima, +H. Muramatsu, +H. Kurosawa, +M. Ito, +Y. Yuza, +N. Hotta, +M. Okada, +H. Hosoi, +A. Saito, +S. Adachi, +K. Horibe, +S. Mizutani, +H. Shimada: Accelerated and blast phase of pediatric chronic myeloid leukemia. :Report from JPLSG CML-11 study, 第 76 回日本血液学会学術集会, 2014. 10, 大阪市, 臨床血液, 55 (9), 1438, 2014. 09

1431056

岡崎 新太郎, 安富 素子, 林 仁幸子, 村井 宏生, 河北 亜希子, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: 小児喘息患者におけるMost Graphによる呼吸機能評価の活用性についての検討, 第 51 回日本小児アレルギー学会, 2014. 11, 四日市市, 日本小児アレルギー学会誌, 28 (4), 712, 2014. 10

1431057

安富 素子, +國島伸治, 岡崎新太郎, 河北亜希子, 吉川利英, 鈴木孝二, +土田晋也, 谷澤昭彦, 大嶋勇成: 新規 ACTN1 変異による先天性巨大血小板性血小板減少症の 1 例, 第 55 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014. 11, 岡山市

1431058

吉川 利英, 田中 奈々絵, 巨田 元礼, 鈴木 孝二, 谷澤 昭彦, 大嶋 勇成, +米谷 博, +菊地尚子, +吉岡 紀久子, +岡本 浩之, +石田 武彦: 骨・関節症状を初発症状とした急性リンパ性白血病の 3 例, 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014. 11, 岡山市, 日本小児血液・がん学会雑誌, 51 (4), 341, 2014. 10

1431059

川谷 正男, *井川 正道, +清野 智恵子, *前田 浩幸, *米田 誠, 畑 郁江: MLPA 法でジストロフィン遺伝子の偽陽性を呈した 1 例, 第 59 回日本人類遺伝学会, 2014. 11, 東京

1431060

鈴木 孝二, 谷澤 昭彦, 田中 奈々絵, 吉川 利英, 畑 郁江, 大嶋 勇成: 急性リンパ性白血病の維持療法中に葉酸欠乏症をきたした一小児例, 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014. 11, 岡山市, 日本小児血液・がん学会雑誌, 51 (4), 267, 2014. 10

1431061

畑 郁江, *重松 陽介, +中島 英規: フルクトース 6 リン酸の LC-MS/MW 測定によるフルクトース-1, 6-ビスフォスファターゼ活性測定と診断, 第 56 回日本先天代謝異常学会, 2014. 11, 仙台市

(3) 国内学会 (地域レベル)

a. 一般講演 (口演)

1431062

田中 奈々絵, 米谷 博, 巨田 元礼, 川谷 正男, 畑 郁江, 大嶋 勇成: Facial diplegia with paresthesia の 1 例, 第 311 回日本小児科学会北陸地方会, 2014. 06, 永平寺町

1431063

奥野 貴士, 畑 郁江, 田中 奈々絵, 熊野 麻美, 鈴木 孝二, 徳力 周子, 大嶋 勇成: ARC 症候群の 1 例, 第 50 回中部日本小児科学会, 2014. 08, 松本市

1431064

川谷 正男: 自閉症児をもつきょうだいへの支援, 第 66 回日本小児神経学会北陸地方会, 2014. 09, 金沢市

1431065

林 仁幸子, 安富 素子, 岡崎 新太郎, 河北 亜希子, 村井 宏生, 大嶋 勇成: 当院での食物アレルギーに対する経口免疫療法実施症例の現状, 第 10 回日本小児科学会福井地方会, 2014. 11, 福井市

1431066

渡邊 一寿, 巨田 元礼, 磯崎 由宇子, 鈴木 孝二, 川谷 正男, 大嶋 勇成, +石原 靖紀: 可逆性脳血管攣縮症候群の5歳男児例, 第312回日本小児科学会北陸地方会, 2014.12, 富山市

1431067

巨田 元礼, 渡邊 一寿, 川谷 正男, 畑 郁江, 大嶋 勇成: 慢性特発性髄膜炎の15歳男子例, 第67回日本小児神経学会北陸地方会, 2015.02, 金沢市

1431068

山田 健太, 磯崎 由宇子, 村井 宏生, 鈴木 孝二, 徳力 周子, 安富 素子, 畑 郁江, 大嶋 勇成: 内視鏡検査で縦走潰瘍をみとめたIgA血管炎の2例, 第313回日本小児科学会北陸地方会, 2015.03, 金沢市

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1431069

大嶋 勇成: 小児科日常診療に潜むカルニチン欠乏, 小児科におけるカルニチン療法について考える, 2014.05, 京都市

1431070

大嶋 勇成: 食物アレルギー診療体制の構築—福井県における病診連携の取り組みと問題点—, Food Allergy Expert Seminar in Apollo, 2014.07, 東京

1431071

大嶋 勇成: 小児気管支喘息の多様性から診た治療を考える, 第15回埼玉小児喘息研究会, 2014.07, さいたま市

1431072

大嶋 勇成: 食物アレルギーの基礎と臨床, Kyoto 60 Medical Meeting, 2014.08, 京都市

1431073

大嶋 勇成: 小児科日常診療におけるカルニチン欠乏, 第3回滋賀カルニチン講演会, 2014.09, 大津市

1431074

大嶋 勇成: 小児アトピー性皮膚炎の生活管理とスキンケア—小児科医の立場から, 奈良県皮膚症小児疾患講演会, 2014.09, 奈良市

1431075

大嶋 勇成: 最新の食物アレルギー診療, 3月次医学会, 2015.03, 武生市

b. シンポジスト・パネリスト等

1431076

大嶋 勇成: 小児アトピー性皮膚炎にともなう全身症状とその管理, 第3回小児アトピー性皮膚炎フォーラム, 小児アトピー性皮膚炎の全身症状と鑑別診断, 2015.03, 東京

c. 一般講演(口演)

1431077

巨田 元礼, 熊野 麻美, 畑 郁江, 大嶋 勇成: 無呼吸発作で発症し人工呼吸器管理を要したライノウイルス感染症の早期乳児例, 第17回北陸小児救急・集中治療研究会, 2014.05, 金沢市

1431078

川谷 正男, 巨田 元礼, 大嶋 勇成: 当科におけるてんかん診療の実際, 学術講演会 てんかん治療の最前線, 2014. 07

1431079

巨田 元礼, 川谷 正男: 反復する一過性の心静止を認めた延髄腫瘍を伴う脳性まひ例, 平成 26 年度日本小児神経学会北陸地方会夏季セミナー (白山セミナー), 2014. 07, 加賀市

1431080

川谷 正男, 巨田 元礼: 頻回の再発を繰り返している ADEM/MS の一例, 平成 26 年度日本小児神経学会北陸地方会夏季セミナー (白山セミナー), 2014. 07, 加賀市

1431081

吉川 利英, 田中 奈々絵, 鈴木 孝二, 谷澤 昭彦, 大嶋 勇成, *藤本 大裕, *村上 真, *今村 好章: 初発時に両側腎転移を認めた神経芽腫の 1 例, 第 40 回北陸小児癌症例検討会, 2014. 09, 金沢市

1431082

+久保 陽子, +松浦 ひろみ, 鈴木 孝二, 谷澤 昭彦: 小児期における入院経験者の心理ケアに関する臨床心理学的研究, 第 14 回中部小児がんトータルケア研究会, 2014. 09, 金沢市

1431083

村井 宏生, 岡崎 新太郎, 林 仁幸子, 河北 亜希子, 安富 素子, 眞弓 光文, 大嶋 勇成: 唾液中サーファクタントプロテイン D は気道炎症の指標となりうるか?, 第 41 回北陸アレルギー研究会, 2014. 12, 金沢市

1431084

畑 郁江, 磯崎 由宇子, 川谷 正男, 巨田 元礼, *前田 浩幸, +清野 智恵子, *重松 陽介, +米田 誠: 当院で経験したシトリン欠損症の臨床経過と遺伝カウンセリングにおける問題点, 第 35 回北陸臨床遺伝研究会, 2015. 01, 金沢市

1431085

渡邊 一寿, 鈴木 孝二, 安富 素子, +森岡 茂巳, +高島 健浩, +金兼 弘和, +星野 顕宏, +和田 泰三, 大嶋 勇成: 自己免疫性好中球減少症として発症し、autoimmune lymphoproliferative syndrome が疑われる 3 歳男児例, 第 4 回小児免疫不全症セミナー, 2015. 02, 金沢市

1431086

巨田 元礼, 川谷 正男, 奥野 貴士, 徳力 周子, 畑 郁江, 大嶋 勇成: 先天性筋強直性ジストロフィーに対する遺伝カウンセリングの経験, 第 54 回福井県小児保健協会学術集会, 2015. 02, 永平寺町

1431087

磯崎 由宇子, 畑 郁江, 大嶋 勇成, *重松 陽介, *有島 英孝: 低身長 of 精査時に脊髄空洞症と診断された女児例, 第 29 回北陸小児内分泌研究会, 2015. 02, 金沢市

1431088

安富 素子, 渡邊 一寿, 村井 宏生, 畑 郁江, 大嶋 勇成, +西小森 隆太: イラリス投与後も発熱発作を反復する高 IgD 症候群の 1 男児例, 北陸小児リウマチ研究会, 2015. 03, 金沢市

1431089

*前田 真弘, *嶋田 誠一郎, 奥野 貴士, 徳力 周子, 大嶋 勇成: 6 番染色体長腕微細欠失症候群女兒の外来作業療法, 第 22 回未熟児新生児医療研究会, 2015. 03, 京都市

(C) その他業績

<ul style="list-style-type: none"> 大嶋 勇成: Allergology International, Editorial Board Member, 2011~

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
福井県大学連携リーグ連携研究推進事業	自閉症スペクトラム障害の早期発見と診断精度の向上を目的とした神経基盤の解明とバイオマーカーの開発		*上野 幹二	川谷 正男	2014. 04~ 2015. 03	950 千円

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	医学的評価に基づく自閉症児のきょうだい支援システムの構築	川谷 正男		2014	2,210 千円
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	食物アレルギーに対する制御性T細胞誘導を利用した経皮免疫療法の開発	大嶋 勇成		2014	1,950 千円
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	オートファジー機能修飾により食物アレルギーを抑制する	安富 素子		2014	2,470 千円
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	自閉性障害の神経ネットワーク異常に関する研究: 非線形解析による脳形態生理学的検討	*高橋 哲也	川谷 正男	2014	1,300 千円
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	胃粘膜保護剤ゲラニルゲラニルアセトンを用いた気管支肺異形成症の新規予防戦略	徳力 周子		2014	2,210 千円

文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	線維細胞を指標とした気道リモデリング進展リスク評価法の確立	林子 仁幸子		2014	1,300 千円
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	効果的な抗腫瘍免疫をもたらす自家造血幹細胞移植法の開発研究	鈴木 孝二		2014	2,080 千円
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	ステロイド抵抗性喘息における気道上皮細胞のオートファジーの重要性	村井 宏生		2014	1,430 千円
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	経皮感作による食物アレルギー発症機序の解明と経皮免疫療法への応用	河北 亜希子		2014	1,560 千円
学内競争的資金	学部長裁量経費	早産児の慢性腎臓病発症を予測する新たなバイオマーカーの開発	徳力 周子	奥野 貴士, 巨田 元礼, 林 泰平	2014	600 千円
学内競争的資金	病院長裁量経費	食物アレルギーにおける耐性獲得の新規評価方法の確立	安富 素子	大嶋 勇成, 村井 宏生, 河北 亜希子, 林 仁幸子	2014	300 千円
学内競争的資金	その他	小児気管支喘息患者に対する病態解析バイオマーカーの開発	村井 宏生	大嶋 勇成, 安富 素子	2014	200 千円

(B) 奨学寄附金

受入件数	15 件
受入金額	80,322,196 円

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会(全国レベル)	主催者	第26回日本アレルギー学会春季臨床大会	2014.05.11～05.12	京都市
国内学会(地方レベル)	主催者	第311回日本小児科学会北陸地方会・第9回日本小児科学会福井地方会	2014.06.08	永平寺町
国内学会(地方レベル)	主催者	第10回日本小児科学会福井地方会	2014.11.22	福井市

その他の研究集会	主催者	第53回福井県小児保健協会学術集会	2014.07.06	永平寺町
その他の研究集会	主催者	第54回福井県小児保健協会学術集会	2015.02.08	永平寺町

(B) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本小児アレルギー学会	理事	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	評議員	大嶋 勇成
日本小児感染症学会	評議員	大嶋 勇成
日本アレルギー学会	代議員	大嶋 勇成
日本小児科学会	代議員	大嶋 勇成
日本アレルギー学会	学術大会委員	大嶋 勇成
日本アレルギー学会	Allergology International 編集委員	大嶋 勇成
日本小児皮膚科学会	運営委員	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	食物アレルギー委員会委員	大嶋 勇成
日本小児皮膚科学会	日本小児皮膚科学会雑誌編集委員	大嶋 勇成
日本小児呼吸器疾患学会	運営委員	大嶋 勇成
日本小児呼吸器疾患学会	学術委員会委員	大嶋 勇成
日本小児呼吸器疾患学会	情報処理委員会委員	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	倫理委員会委員長	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	免疫療法WG委員	大嶋 勇成
日本小児アレルギー学会	日本小児アレルギー学会誌編集委員長	大嶋 勇成
日本先天代謝異常学会	評議員	畑 郁江
日本小児神経学会	社会活動支援委員	川谷 正男
日本周産期新生児医学会	評議員	徳力 周子

(C) 座長

国内学会（全国レベル）	学会名	氏名
招待・特別講演等	第26回日本アレルギー学会春季臨床大会	大嶋 勇成
シンポジウム等	第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	大嶋 勇成

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員の別	氏名
日本小児アレルギー学会誌	編集委員長	大嶋 勇成

日本アレルギー学会誌	Allergology International 編集委員	大嶋 勇成
日本小児皮膚科学会雑誌	編集委員	大嶋 勇成

(E) その他

<p><報道></p> <ul style="list-style-type: none"> 村井宏生: 元気で医こう 小児のアトピー性皮膚炎, アトピー性皮膚炎について, 日刊県民福井, 2014. 08. 03 大嶋 勇成: アレルギー性鼻炎について, 福井市企画制作部男女共同参画室・少子化対策センター内「ほっと」誌, 2014. 09 巨田 元礼: “元気で医こう” 赤ちゃんの成長, 県民福井, 2014. 12. 14 大嶋 勇成: 痙攣 (けいれん) について, 福井市企画制作部男女共同参画室・少子化対策センター内「ほっと」誌, 2015. 02
--

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関・委員会の名称等	役職	氏名	期間
地方自治体	福井県健康福祉部, 福井県周産期医療協議会	委員	大嶋 勇成	2011. 04～
地方自治体	福井県健康福祉部, 福井県健康づくり推進協議会母子保健部会	委員	大嶋 勇成	2012. 04～
地方自治体	福井県教育委員会, 福井県心身障害児就学指導委員会	委員	大嶋 勇成	2013. 06～
地方自治体	福井県教育委員会, 福井県立福井東特別支援学校五領分教室	学校医	大嶋 勇成	2011. 04～
地方自治体	福井県健康福祉部 福井県医療審議会小児医療体制検討部会	委員	大嶋 勇成	2010. 10～
地方自治体	福井県教育庁スポーツ保健課, 平成 26 年度文部科学省委託「学校保健解決支援事業」連絡協議会	委員	大嶋 勇成	2014. 07～
地方自治体	福井県健康福祉部, 福井県難病対策協議会	委員	畑 郁江	2010. 04～
地方自治体	福井県特別支援教育センター, 巡回教育相談	委員	川谷 正男	2006. 04～
地方自治体	福井県健康福祉課, 子どもの心の診療医養成事業	ワーキング委員	川谷 正男	2013. 04～
公益法人等	福井県小児保健協会	理事	川谷 正男	2011. 04～
公益法人等	福井県小児科医会	理事	川谷 正男	2011. 04～
公益法人等	福井県医師会, #8000 子ども救急医療電話相談事業運営協議会	委員	大嶋 勇成	2010. 11～
公益法人等	福井県小児科医会	顧問	大嶋 勇成	2011. 03～
公益法人等	福井県小児保健協会	副会長	大嶋 勇成	2011. 07～
公益法人等	日本小児白血病研究会 (JACLS)	運営委員	谷澤 昭彦	2010. 04～
公益法人等	日本小児白血病・リンパ腫研究グループ (JPLSG)	運営委員	谷澤 昭彦	2010. 04～

公益法人等	日本骨髄バンク	調整医師	谷澤 昭彦	2006.04～
公益法人等	福井県糖尿病協会	理事	畑 郁江	2004～
公益法人等	(社)福井県医師会, 福井県医師会女性医師対策委員会	委員	畑 郁江	2013.08～ 2015.06
公益法人等	社会福祉法人 足羽福祉会 子ども発達支援センター「フレンズあすわ」	囑託医	川谷 正男	2013.12～
公益法人等	日本骨髄バンク	調整医師	鈴木 孝二	2012.04～
その他	膠原病支援ネットワーク	支援医師	大嶋 勇成	2004～
その他	福井県自閉症協会	運営委員	川谷 正男	2008.04～
その他	福井県発達障害児支援・連携会議	メンバー	川谷 正男	2008.11～
その他	NPO 法人はるもにあ	理事	川谷 正男	2011.04～
その他	当事者団体, 北陸ターナー女性とその家族の会	世話人	+伊藤 順庸, +中井 昭夫, +齋藤 万里子, +藤澤 和郎, +岡島 道子, +西村 光敏, 畑 郁江, +五十嵐 登, *重松 陽介, +和田 直樹	2009～

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
講演・セミナー等	栄養管理推進研修会, 除去食物(食物アレルギー)の解除への支援について	福井県嶺南振興局, 専門職業人, 40人	大嶋 勇成
講演・セミナー等	公私立保育園、認定こども園合同研修会, 保育園におけるアレルギー疾患への対応について	福井市子育て支援室, 専門職業人, 80人	大嶋 勇成
講演・セミナー等	坂井市児童館・児童クラブ職員研修会, 食物アレルギーを有する児童への対応について	坂井市福祉保健部子育て支援課, 専門職業人, 80人	大嶋 勇成
講演・セミナー等	平成26年度敦賀市アレルギー対応研修会, 学校における食物アレルギー対応について	敦賀市教育委員会, 専門職業人, 42人	大嶋 勇成
講演・セミナー等	看護実践能力開発講座, アレルギーマーチ対策	専門職業人, 32人	大嶋 勇成
講演・セミナー等	南越保育研究会講演会, 保育園における食物アレルギーへの対応	南越地区保育研究会, 専門職業人, 60人	大嶋 勇成
講演・セミナー等	平成26年度日本保育園保健協議会中部(第4)ブロック研修会, 保育園における食物アレルギーへの対応	一般社団法人日本保育園保健協議会, 専門職業人, 200人	大嶋 勇成
講演・セミナー等	小児アレルギー疾患の修飾因子, 第1回総合アレルギー講習会	日本アレルギー学会, 専門職業人, 600人	大嶋 勇成
講演・セミナー等	福井大学医学部附属病院がん診療推進センター主催 がん診療講習会, がん診療の基礎、臨床、緩和医療、化学療法、その他	福井大学医学部附属病院がん診療推進センター研修部門, 専門職業人, 300人	*片山 寛次, *山内 高弘, 谷澤 昭彦
講演・セミナー等	福井県小児糖尿病サマーキャンプ, 児童の栄養管理	一般	畑 郁江
講演・セミナー等	敦賀市こども成長セミナー, 学校健診での成長に関するチェックポイント	専門職業人, 30人	畑 郁江

講演・セミナー等	福井糖尿病療養指導担当者講習会, 福井糖尿病療養指導担当者講習会	専門職業人, 100人, 講師	畑 郁江
講演・セミナー等	ママドクターの会, 予防接種について	専門職業人, 10人	畑 郁江
講演・セミナー等	福井県助産師協会 出生前診断研修会, 出生前診断について	福井県助産師協会, 専門職業人, 30人	川谷 正男
講演・セミナー等	平成 26 年度医療的ケアサポート推進事業 医療的ケアが必要な児童生徒等に関する教員研修, 重度重複障害のある児童生徒等の医療や看護に関する基礎的な知識	福井県特別支援教育センター, 専門職業人, 30人	川谷 正男
講演・セミナー等	平成 26 年度子どもの心の診療医養成研修基礎講座, 学齢期の発達障害の気づきと育ちのフォロー	福井県障害福祉課, 福井県医師会, 専門職業人・一般・その他, 40人	川谷 正男
講演・セミナー等	平成 26 年度 福井県臨床心理士学校臨床心理士部会定例会, 発達障害の診断 DSM-5 と DSM-IV との違い	福井県臨床心理士会, 専門職業人, 30人	川谷 正男
講演・セミナー等	平成 24 年度診療ガイドライン薬剤コース, 小児の呼吸器疾患	福井県薬剤師会, 専門職業人, 30人	安富 素子
講演・セミナー等	疾病よろず相談室, 最近のアレルギー診療の話題 当科の現状をふまえて	専門職業人, 15人	安富 素子
講演・セミナー等	こどもの急病時の対処法についての講習会, こどもの急病時の対処法について	一般, 40人	奥野 貴士
講演・セミナー等	教育セミナー チューター, ワークショップ	日本未熟児新生児学会, その他, 9人	奥野 貴士
その他	県内高等教育機関, 医療機関との交流, 発達障害に関する臨床的研究	平谷こども発達クリニック, 専門職業人	+中井 昭夫, 川谷正男, +平谷 美智夫
その他	県内高等教育機関, 医療機関との交流, 発達障害に関する臨床的研究	福井県立大学 学術教養センター, 専門職業人	+中井 昭夫, 川谷正男, +清水 聡
その他	県内高等教育機関, 医療機関との交流, 発達障害の認知運動療法に関する臨床的検討	学校法人新田塚学園 福井医療技術専門学校, 専門職業人	+中井 昭夫, 川谷正男, +與河 かおり, +山崎 京子
その他	平成 26 年医師と看護職員等との協働推進研修事業新生児蘇生法講習会, 新生児蘇生法講習会	専門職業人, 30人	徳力 周子, 奥野 貴士, 巨田 元礼
その他	平成 26 年度越前市子育て発達相談会, 「こどものそうだん会」	越前市健康増進課, 一般	川谷 正男
その他	平成 26 年度勝山市こどもの発達相談会, 発達相談	勝山市健康福祉部, 一般	川谷 正男

(B) その他業績

- 徳力 周子: 福井県周産期検討会, 死亡症例、難治症例の検討会, 2008. 04~